



夏の交通事故防止

夏は日照時間が長く、気温も高くなるため、暑さからくる集中力の欠如や疲労等が原因となる交通事故が懸念されます。

過去5年間における交通死亡事故の発生状況を見ると、**7～9月は午前8時～午後零時の時間帯で発生割合が高くなっている**ので、この時間帯は特に注意しましょう。

疲労がたまると…

注意力、集中力、判断力が低下し、ハンドル・ブレーキ操作等が不安定になったり、周囲の危険を発見することができなくなります。

疲労した状態での運転は、居眠り運転にもつながり、大変危険です。



夏に自動車を運転する際は……

- ・眠気や疲れを感じる前に、早めに休憩しましょう。



- ・睡眠不足や体調の悪い時は無理せず、運転を控えましょう。



- ・車内でも熱中症にかかる可能性があります。外の新鮮な空気を取り入れ、適度に車内の環境もリフレッシュしましょう。



- ・ゆとりのある運転計画を立てましょう。



安全運転で夏を乗り切りましょう!

ツイッターを運用しています。フォローお願いします!【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



- ◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。(アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/)
- ◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に新情報を配信します。

